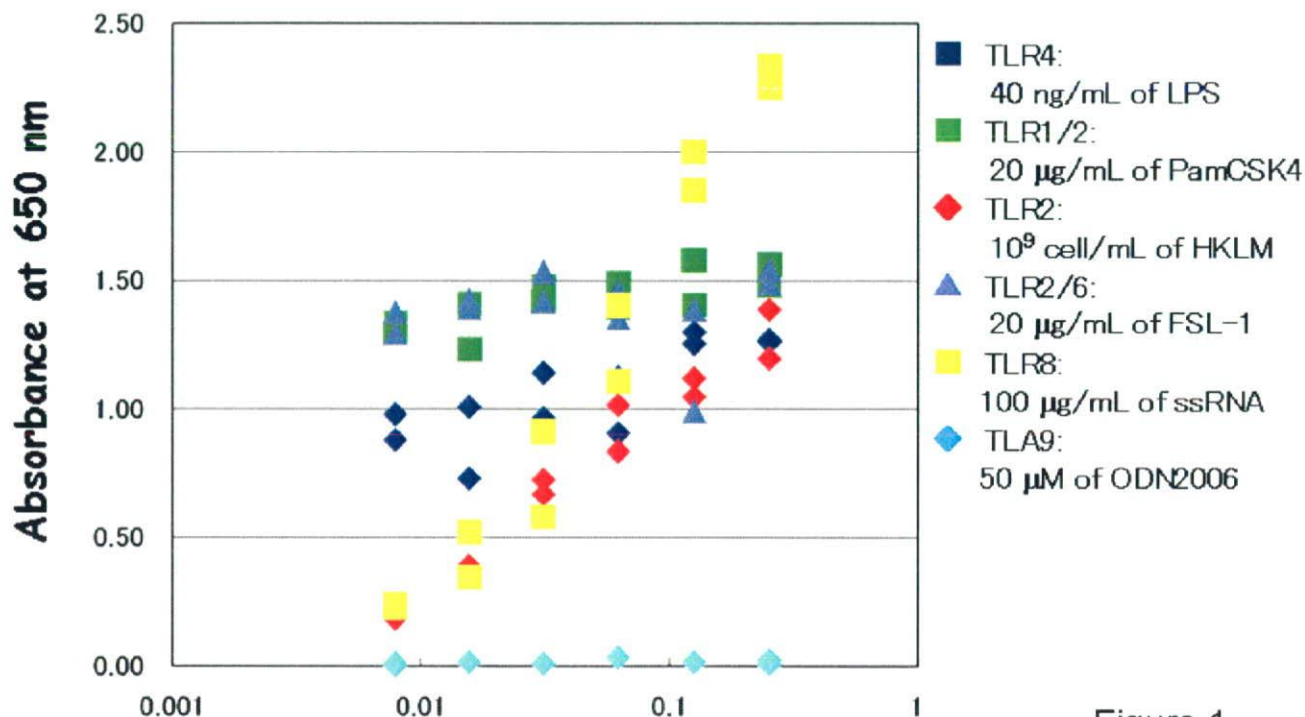
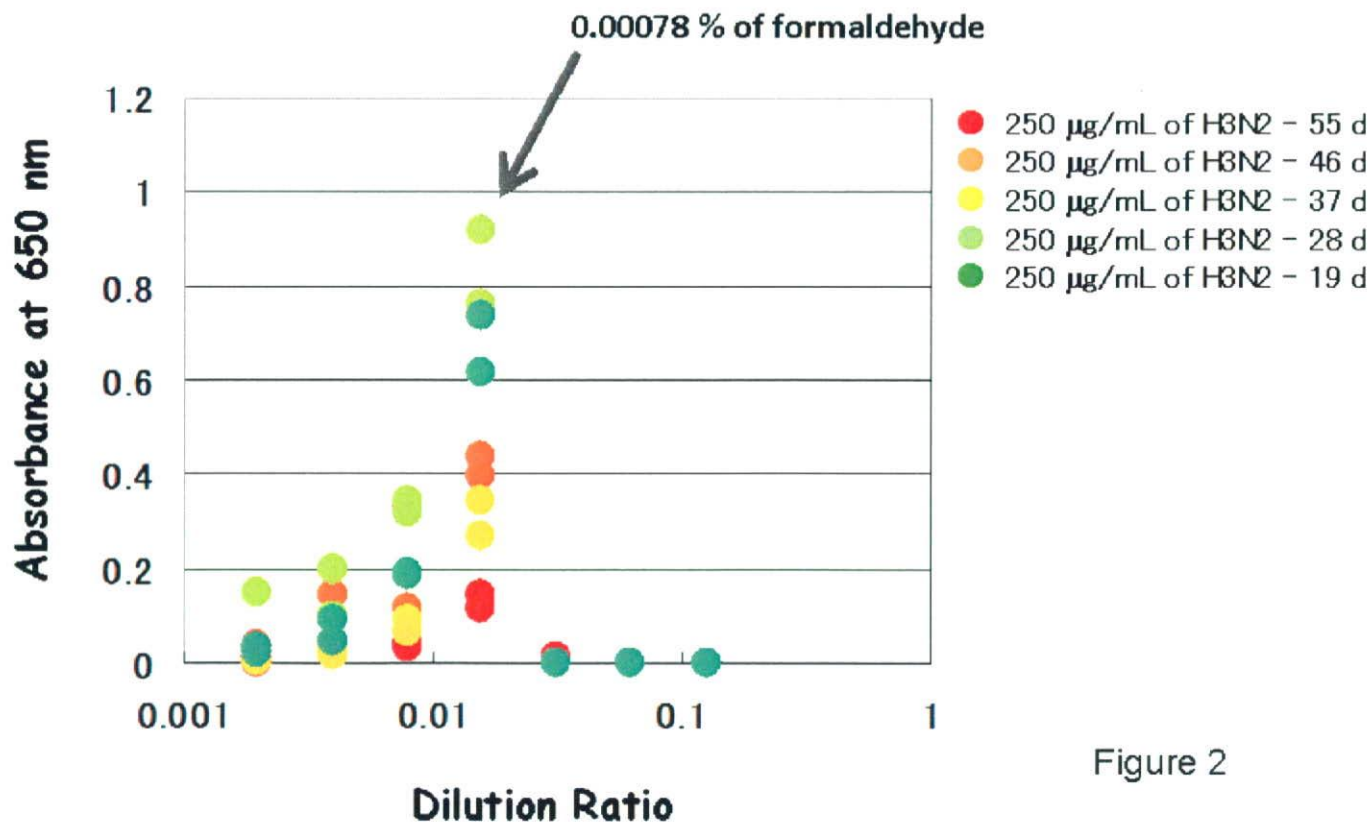


様々な希釈率の TLR agonistと共にPMA-activated THP-1-blue-CD14を24時間培養した後、NF- $\kappa$ B活性を測定した。



異なる不活化期間のH3N2ウイルスを様々な希釈率で培養液に加えてPMA-activated THP-1-blue-CD14を24時間培養した後、NF- $\kappa$ B活性を測定した。



異なる不活化期間のB型ウイルスを様々な希釈率で培養液に加えて PMA-activated THP-1-blue-CD14 を24時間培養した後、NF-kB活性を測定した。

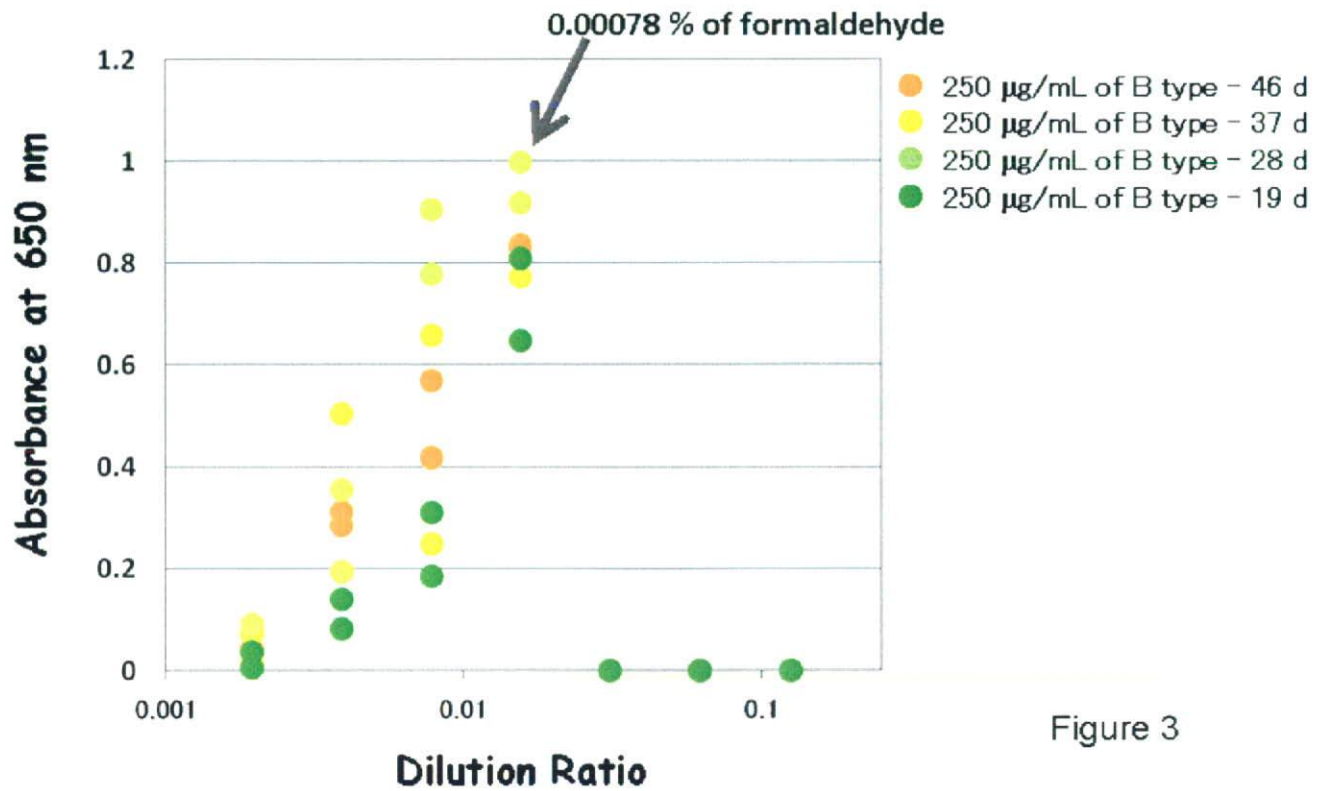


Figure 3

インフルエンザHAワクチンまたは新型インフルエンザワクチンを様々な希釈率で培養液に加えてPMA-activated THP-1-blue-CD14 を24時間培養した後、NF-kB活性を測定した。

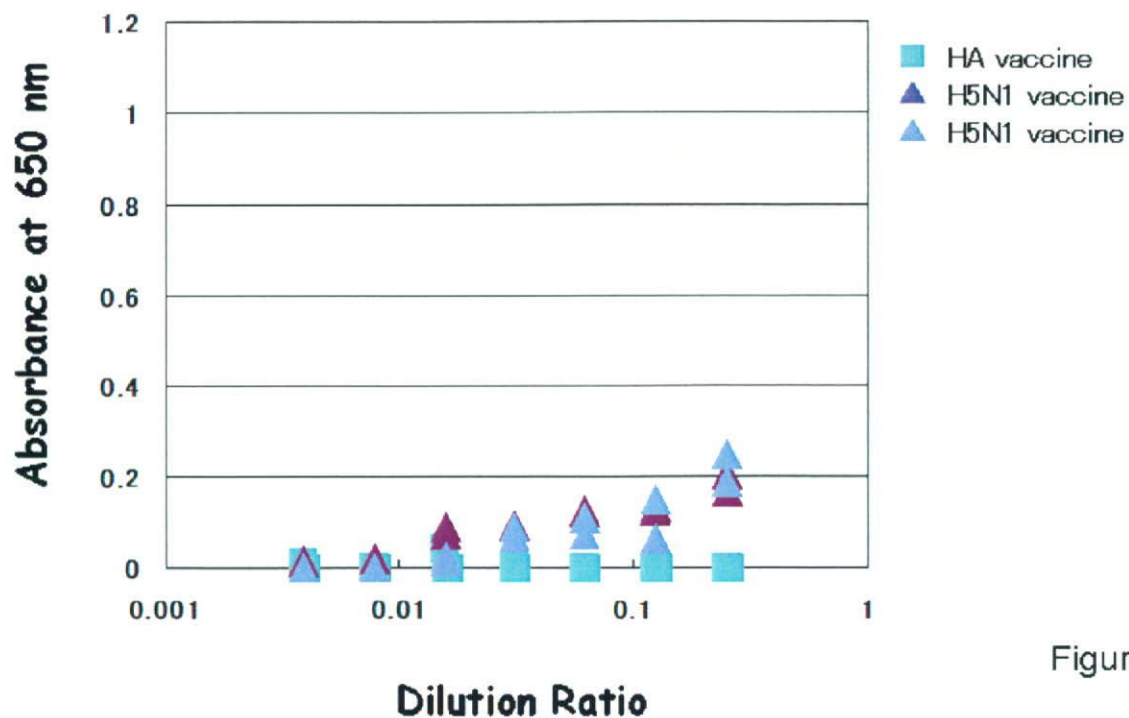


Figure 4